

おおだて

令和元年8月1日 133号

市議会だより

新しい議会の構成	▶ 2.3
令和元年第1回臨時会・6月定例会の審議結果	▶ 4.5
一般質問	▶ 6
政務活動費の状況について	▶ 11
各常任委員会の審査から	▶ 12.13
全国市議会議長会表彰・議会報委員会の紹介	▶ 14

新大館市議会がスタート

議長に小畠淳氏を選出

副議長に小棚木政之氏、監査委員に斎藤則幸氏





副議長
小棚木政之
(令和会)



議長
小畠淳
(無所属)

新しい議会の構成をお知らせします

委員長



田中耕太郎
(令和会)

厚生常任委員会(定数7人)

総務財政常任委員会(定数7人)

委員長



武田晋
(令和会)

副委員長



田村儀光
(令和会)

副委員長



小棚木政之
(令和会)



花岡有一
(令和会)

柳館晃
(令和会)

柳館晃
(令和会)



笹島愛子
(日本共産党)



佐藤久勝
(令和会)



小畠新一
(公明党)



伊藤毅
(令和会)



佐藤芳忠
(市民の風)



相馬エミ子
(市民の風)



菅大輔
(市民の風)



吉原正
(市民の風)

【主な審査事項】

- ▼ 善場、ペット園
- ▼ 保育園、児童館
- ▼ 障害者福祉、高齢者福祉、市立総合病院、扇田病院
- ▼ 市民の健康、地域医療
- ▼ 生活困窮者対策、児童福祉、み・し尿)処理
- ▼ 市民税などの賦課・徴収
- ▼ 防犯、交通安全対策
- ▼ 国民年金
- ▼ 戸籍、住民基本台帳
- ▼ 国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療費、介護保険
- ▼ 生活環境保全、廃棄物(ごみ)

- ▼ 総合計画、総合戦略
- ▼ ふるさと納税の推進
- ▼ 市の組織、職員人事
- ▼ 市有財産の利活用
- ▼ 工事の入札・検査
- ▼ 広報・広聴
- ▼ 災害対策、危機管理
- ▼ 新庁舎の計画・建設等
- ▼ 財政計画、予算編成
- ▼ 消防
- ▼ 選挙、監査
- ▼ 現金の出納・保管
- ▼ 他の常任委員会に属さない事項

【主な審査事項】

議会運営委員会

議会運営に関することなどについて協議しています。

◎委員長 ○副委員長

○佐藤 久勝(令和会)
○藤原 明(令和会)
伊藤 毅(令和会)
日景 賢悟(令和会)
明石 宏康(市民の風)
菅 大輔(市民の風)

各種委員等

◇監査委員

齊藤 則幸(公明党)

◇民生委員推せん会委員

花岡 有一(令和会)
相馬エミ子(市民の風)

◇都市計画審議会委員

田中耕太郎(令和会)
佐々木公司(令和会)
明石 宏康(市民の風)

◇秋田県後期高齢者医療庁
域連合議会議員
小畠 淳(無所属)

委員長



佐藤 真平
(令和会)

副委員長



石垣 博隆
(令和会)

委員長



阿部 文男
(令和会)

副委員長



佐々木 公司
(令和会)

日景 賢悟
(令和会)



岩本 裕司
(市民の風)



小畠 淳
(無所属)

藤原 明
(令和会)



田村 秀雄
(市民の風)

斉藤 則幸
(公明党)



富樺 孝
(市民の風)

建設水道常任委員会(定数6人)

【主な審査事項】

- ▼ 道路、橋梁の新設・改良・維持管理
- ▼ 都市計画の総合企画
- ▼ 都市計画、都市公園事業
- ▼ 市営住宅
- ▼ 中心市街地のまちづくりの推進
- ▼ 下水道事業
- ▼ 工業用水道事業
- ▼ 水道事業
- ▼ 戸別浄化槽
- ▼ 小規模水道

- ▼ 農林業政策の総合企画
- ▼ 農地等の利用集積
- ▼ 觀光及び物産振興、地場特産の開発流通促進
- ▼ 觀光行事の振興
- ▼ 中小企業の育成、企業誘致、商工業の振興、企業誘致、
- ▼ 小・中学校の管理運営
- ▼ 学校給食、教育研究所
- ▼ 生涯学習の推進、芸術文化の振興、青少年健全育成
- ▼ 社会体育、スポーツ推進
- ▼ 公民館、図書館、郷土博物館、鳥潟会館、松下村塾

【主な審査事項】

新議長に小畠淳議員を選出

新副議長には小棚木政之議員を選出

令和元年
第1回臨時会
(5月 20日)

専決処分の承認について

市税条例等の一部改正

国の法律が改正されたことに伴い、寄付金税額控除規定の整備、グリーン化特例の期間を2年延長などするもの。

承 認

国民健康保険税条例の一部改正

中間所得層の過度な負担を避けるため、課税限度額の引き上げや低所得者の保険税軽減措置の基準額を見直し、5割軽減・2割軽減の範囲を拡充するもの。

承 認

令和元年5月20日に開催された第1回臨時会は、上記などの専決処分の承認・報告、議長・副議長の選挙、常任委員の選任、議会運営委員の定数及び選任、監査委員の選任などを議決・決定しました。

主な議案等の審議結果

令和元年
6月定例会

条例案

起立採決により原案可決

- 消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例案

原案可決

- 大館市森林環境譲与税基金に関する条例案
- 大館市過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例案
- 大館市介護保険条例の一部を改正する条例案
- 大館市火災予防条例の一部を改正する条例案

ほか7件

単行案

原案可決

- 財産の取得について（除雪ドーザ（11t級）1台）

ほか4件

予算案

原案可決

令和元年度大館市一般会計補正予算（第1号）案

・ ふるさと応援寄附基金積立金追加	1億1, 658万円
・ プレミアム付商品券交付事業費計上	1億1, 846万円
・ 予防接種費追加（風しん抗体検査及び予防接種）	1, 913万円
・ 多面的機能支払交付金事業費追加	2億 726万円
・ 道路補修工事費追加	2億6, 424万円
・ 小中学校工事費追加	6, 054万円

以上を含め、歳入歳出予算補正額 20億500万円

令和元年6月定例会は、6月4日から25日までの22日間の会期で開催されました。市長提出議案は、報告10件、条例案12件、単行案5件、予算案9件、人事案2件、合計38件を審議の結果、全て原案のとおり議決しました。ここでは主なものをお知らせします。

請願・陳情の審議結果、意見書の提出状況は以下のとおりとなっています。

請願と陳情

6月定例会に提出されたもの

請 願	・ 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出要請について	継 続 審 査
陳 情	・ 教職員定数の改善と義務教育費の国庫負担割合を2分の1に復元することを求める意見書の提出要請について	採 択
	・ 新幹線誘致の取り組みを求める陳情	趣 旨 採 択
	・ 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外への移転を民主主義及び日本国憲法に基づき公正に解決させるよう求める意見書の提出要請について	継 続 審 査
	・ 「沖縄県民は先住民族」との国連の勧告を撤回させることを求める意見書の提出要請について	
	・ 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進するよう求める意見書の提出要請について	
	・ 水道事業へのコンセッション方式の導入に反対する陳情	起 立 採 決 に よ り 不 採 択
	・ 観光計画の見直しを求める陳情	
	・ 脱モータリゼーションを反映させた都市計画を求める陳情	不 採 択
	・ 外国人労働者受け入れ政策の中止を求める陳情	

- 教職員定数の改善と義務教育費の国庫負担割合を2分の1に復元することを求める意見書
《提出先》衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

JR大館駅の整備事業と 駅舎建設について

小畠 新一 議員（公明党）
おばた しんいち



〔問〕 駅舎内ホームのバリアフリー

一整備はどうするのか。

〔市長〕 階段を使わずに1番線と2番線のホームを往来できるよう駅構内の跨線橋両側へのエレベーター設置に向け、JRと詳細を詰めながら取り組んでいく。

〔問〕 駅前広場、車両用口一タリ

一の整備は。

〔市長〕 駅前広場は現在、車両出入り口が複数あり、動線が交錯し、危険な状態となっている。そのため、広場中央にタクシープールを配置し、それを囲むようにロータリー状の通路を整備、一般駐車場を通路と区分して配置する。また、タクシー及びバス乗降客用の屋根や融雪歩道を整備し、安全性確保と利便性向上を図るよう考へている。

〔問〕 合築駅舎の機能は。

〔市長〕 バス乗車券売り場やトイレのほか、町内会も利用できる多目的室やイベントホールを整備する予定としている。

〔問〕 建設予算の内訳は。また、市債発行の予定は。

〔市長〕 合築駅舎の整備に係る概算事業費等は、現駅舎解体や支障物件の移転補償費用などを含め、約13億5,000万円を見込んでいる。

財源として社会資本整備総合交付金を40%、元利償還額に7割の交付税算入が見込める合併特例債を50%強充當することとしている。

〔問〕 ホームの上屋などをリニューアルしてはどうか。

〔市長〕 財源として活用する社会資本整備総合資本整備事業交付金の条件に「リニューアルは対象外」等とあるため、これらを勘案し計画している。

〔問〕 完成後の経済効果の想定は。

〔市長〕 駅前周辺整備事業に伴う経済波及効果は、短期的効果として秋田犬の里やJR大館駅合築駅舎整備等により、約30億円を見込んでいる。また、観光消費支出による経済波及効果として、年間約4億円を見込んでいる。

緊急課題である ひきこもり対策

相馬エミ子 議員（市民の風）
そうま エミコ 議員（市民の風）



〔問〕 自立支援としてのひきこもり就労対策について、これまで何度も何度か取り上げてきた経緯がある。

このたび、川崎市で発生した残虐な事件や、元農水省事務次官エリートによる息子殺害事件等、いずれもひきこもりと言われる若者が原因となって発生した事件であり、大きな社会問題となっているが、市長の見解を伺いたい。また、国では、40歳未満のひきこもりの若者を対象にしてきた「地域若者サポートステーション」の就労支援を50歳まで引き上げて行うとしているが、この県北には就労支援の核となる施設がなく困っている。サポートステーションについて、市長の考えを伺いたい。次に、80代の親が自分の年金で50代の子供の生活を支えている8050問題だが、まさに、親の年金が命綱である。

本市ではこのようなケースがどのくらいあるのかわからないが、親亡き後の子供の生活はどうなるのか心配である。市長は、このような現状をどのように捉えているのか。また、8050問題についての市長の考えを伺いたい。ひきこもりの若者たちが一日も早く職業に就けるよう緊急課題として取り組んでほしい。

〔市長〕 川崎市の事件などに関しては、痛ましくやりきれない思いである。日常の寄り添いが大切と痛感している。就労支援については、障害者基幹センター就労支援員などによる就労支援体制を整えてきたが、「地域若者サポートセンター」については、引き続き真に要望していくたい。8050問題については、対象になる若者・ご家庭にアプローチできる専門家の養成などに取り組みたいと考えている。また、来年度策定の「大館市地域福祉計画」に有効なひきこもり対策を盛り込むことを目指し、今年度は200人を対象にニーズ調査を実施し政策に反映していきたい。

カーブミラーと遊具全般の点検・整備

武田 晋 議員（令和会）
たけだ すすむ



保育園は必要性や危険性を見きわめ、
更新・修繕・撤去を行っていく。

森林経営管理制度の運用

〔問〕 令和6年度から課税される森林環境税・年額1,000円の裏づけとなる政策、森林経営管理制度を今後どのように運用するのか。

〔市長〕 所有者が森林経営管理できない場合は、経営管理権集積計画を作成、同意を得た上で市が経営管理権を取得する。「森林経営に適さない森林」については、市が管理を行ない、財源には森林環境贈与税を充てて、点検整備に関しては、地域性、利用頻度、住民要望に配慮し、めり張りある撤去・補修・更新が必要である。

〔市長〕 カーブミラーについては、

今後総点検を行い、劣化の状況を把握する。

その上で交通量や危険度等総合的に勘案し、補修・更新など計画的な維持管理に努める。遊具全般については、公園・学校・保育園合

わせ、市内には65施設に413基が設置されている。劣化などにより危険と判断した71基を使用禁止。更新予定がない遊具は、可能な限り前倒しで撤去を進める。使用可能な遊具については、公園は利用する子供の数やニーズを勘案した上で、学校・

中学校の運動部活動

〔問〕 中学校の運動部活動を教員の負担軽減を考慮し、スポ少化などスポーツ団体に外部委託する方法を考える時期に来ているのでは。

〔教育長〕 複数校による合同部活動、複数顧問制を推進していく。学級単位から社会スポーツ化への転換が望ましいが、主催が中止連であり、代替組織と制度整備がなければ困難。都道府県や市町村単独で改革できるレベルの問題ではないと認識する。

一般質問

一般質問の全文は、8月下旬に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

加齢による難聴者に、補聴器購入費用を補助すること

笛島 愛子 議員（日本共産党）
さとう あいこ

取り組んでいく。



市職員等の働き方について

〔問〕 市の職員や看護師等の残業時間は最大どのくらいか。昨年、23都道府県の97自治体病院で働く1万2,725人からのアンケート結果が報道されていた。本市の状況はどうか。安心して仕事に取り組んでいいのか。残業への対応は。

〔問〕 人間は誰でも加齢とともに、高い音から徐々に聞こえにくくなると言われている。言葉が聞こえにくくなると、認知機能が低下し、コミュニケーションにも支障が出て、社会的に孤立することで、さらに、認知症のリスクが高まるとも言われている。補聴器の必要性はわかっている。補聴器の必要性はわかっている。「年金暮らしでは高くて買えない！」とよく聞く。高齢の方が社会で活躍するためにもぜひ補助制度をつくるべき。

〔市長〕 加齢により耳が聞こえにくくなることは、高齢者自身の意欲低下を招き、就業機会や社会参加を阻害する要因になると考えられる。市としては、まず、毎年実施している高齢者在宅実態調査により、実情の把握に努めるとともに、高齢者の生活の質を高めるための政策形成に

取り組んでいく。
〔市長〕 職員が、土・日・祝日に勤務した場合は、振替休日を取得するよう指導しているが、平日に休みを取得することが困難な職場が多く、時間外勤務手当で対応している状況だ。

勤務した場合は、振替休日を取得するよう指導しているが、平日に休みを取得することが困難な職場が多く、時間外勤務手当で対応している状況だ。

今後の市政運営について

明石 宏康 議員（市民の風）
あかし ひろやす



係る予算については、市長肝いりの観光・歴史同様の予算配分があつてよい。逆に使い道が偏つていると不満が出ないよう留意すべきだ。

【市長】 今後、市民と語る会をはじめ、子育て支援やスポーツに携わる団体などを通じニーズを把握した上で、今後策定される総合計画後期計画に反映させる。

外国人労働者受け入れについて

【問】 市長選挙においては、互いの主張に間違いなどなかつたと感じた。自身を信任した2万人以上の方、相手候補に投票した1万人以上の方、その双方のための市政のかじ取りの責めを負う決意を問う。

【市長】 改めて初心に立ち返り、何のために政治家になったのか、何のための政策なのか、自分で反対した上で言葉にして伝える。「内に優しく、外に強い大館づくり」に全力を尽くす。

【問】 地域要望の多くは道路や側溝改修などだ。長年積み残してきた要望について、いま一度住民と話し合ってほしい。

【市長】 再度現場を確認した上で、市民と話し合いを進め対応に努める。

【問】 屋内プールや多くの要望のあつた「子どもの遊び場」や放置された公園の遊具など、子育て支援に行い全面的に見直す。計画策定後

大館市議会 検索

一般質問

「秋田犬の里」の今後と観光基本計画を見直し産業政策に

小棚木政之 議員（令和会）
おだなぎまさゆき



の大きな変化を反映させるとともに、目標を明確化する。

熊に関する対応のあり方について

【問】 課題が散見され今後が心配。どのように改善を図っていくのか。改善すべきは急いで改善し、真の観光拠点化を図るべき。

【市長】 開業で手応えは感じたが、さまざまな課題がアンケートからも見えてきた。改善のチャンスと捉え、

できるだけ早期に展示内容等を見直す。民間団体などとも連携しソフト面の充実を図っていく。

道路維持情報のシステム化で効率化を

【問】 道路に関する苦情や要望が多いが、情報の受信・整理・改修実施に多くの手間が割かれている。ICT化により業務を効率化し、情報の見える化を進めることができる。

【市長】 道路の穴埋め等に関する通報が多数あり対応に時間を要している。スマートフォン等を使った情報収集システムの導入を検討している。状況把握が劇的に早くなり、初動が早くなり、業務の効率化が期待できる。

【市長】 4年目の今年は中間評価を行い、全面的に見直す。計画策定後

JR直営駅から業務委託駅になつた 大館駅への市費の投入について

佐藤
さとう

芳忠 議員（市民の風）
よしだだ



なかつたのか伺います。

大館駅の建設に関しては短期間で二転三転し、今では当初の物とは内容も目的もまったく別の物になつてしましました。28年の計画当初の市駅ビル分1,580mが、30年には市の分は270mに減り、市駅ビル事業は、市が大館駅を建設する事業に変わつてしましました。

②JRが経費削減のため大館駅を業務委託駅にした今、駅を取り巻く状況は大きく変わりました。街の再生にまといました。業務委託駅になつてどうなるのか説明します。鷹巣駅は27年に業務委託駅になり、駅長や助役はいなくなり早朝夜間の駅員配置も無くなり、JRの子会社の社員1名が駅業務を行っています。みどりの窓口が無いため新幹線の指定席券等は券売機で買わなくてはならず、希望日時の指定席券を必ず取らなくてはならない人や券売機の操作ができない人などは、東能代駅のみどりの窓口まで買いに行くことがあります。

大館駅は去年の12月からJRの直営駅でなく業務委託駅になつてしましました。業務委託駅になるとどうなるのか説明します。鷹巣駅は27年に業務委託駅になり、駅長や助役はいなくなり早朝夜間の駅員配置も無くなり、JRの子会社の社員1名が駅業務を行っています。みどりの窓口が無いため新幹線の指定席券等は券売機で買わなくてはならず、希望日時の指定席券を必ず取らなくてはならない人や券売機の操作ができない人などは、東能代駅のみどりの窓口まで買いに行くことがあります。

大館駅は去年の12月からJRの直営駅でなく業務委託駅になつてしましました。業務委託駅になるとどうなるのか説明します。鷹巣駅は27年に業務委託駅になり、駅長や助役はいなくなり早朝夜間の駅員配置も無くなり、JRの子会社の社員1名が駅業務を行っています。みどりの窓口が無いため新幹線の指定席券等は券売機で買わなくてはならず、希望日時の指定席券を必ず取らなくてはならない人や券売機の操作ができない人などは、東能代駅のみどりの窓口まで買いに行くことがあります。

〔問〕 SDGsについてどのように取り組みについてどうして、議会に報告しました。

2期目に取り組む政策は

齊藤
さいとう

則幸 議員（公明党）
のりゆき



な認識を持っているか。

「市長」 本市の環境管理マニュアルにSDGsが掲げる17の目標の一つ「住み続けられるまちづくりの実現」を取り入れたほか、貧困連鎖の解消に向けた取り組みとして、本定例会に「子どもの学習生活支援事業」に関する予算を計上している。

「子どもの遊び場」の取り組み

〔問〕 示された民意について、どう考へているか。

「市長」 今回の選挙結果を、私自身への叱咤激励と捉え、常に初心を忘ることなく市民の皆様の負託に応えていきたい。

〔問〕 今後、取り組むべき政策についてどう。

「市長」 これまでの子育て支援策に加え、自宅を訪問し悩み相談を受ける「産前・産後サポート事業」や家事代行を行う「養育支援訪問事業」などになどに取り組む。

2期目の市政運営においては、大館が持つ力をさらに前進させながら内に優しく、外に強い大館づくりを目指していきたい。

SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みについてどうして、議会に報告しました。

〔問〕 帯状疱疹ワクチン接種費用に助成できないか。

〔市長〕 今後、検討する。

市の観光危機管理の現状は

〔問〕 観光危機管理の現状についてどう。

「市長」 外国人旅行者の方々も含め、適時・適切に情報を提供していくことが非常に重要だと考えている。

時代はそういう時代に向っています。大館駅合築駅舎の改築について、事業費の抑制を図りJRから業務委託になり、サービスが低下するという不安があるのは確かだと思います。大館駅合築駅舎の改築について、事業費の抑制を図りJRの費用負担を求めるなど、市の負担の縮減を図り進めたいと考えています。

〔問〕 带状疱疹ワクチン接種費用に助成できないか。

〔市長〕 今後、検討する。

福原市政2期目にかける 思いについて

田村 儀光 議員（令和会）
たむら のりみつ



〔問〕私は、市長が講演でいつも言っている①いつも笑顔で、②人の悪口は言わない、③一緒に遊ぼう、を生活の糧として日々過ごしている。この3つの精神を忘れずに頑張っていただきたい。2期目にかける思いを伺う。

〔市長〕これまで進めてきた5つの政策の柱である匠・連携・にぎわい・ひとづくり・安心に基づく各施策について効果の検証と課題の洗い出しを行い、市民の皆様からの御理解と御協力をいただきながら、さらには深化・拡大させ、将来にわたり安心して暮らせる「まちづくり」に全力で取り組んでいく。

駅前開発と秋田犬の里について

〔問〕3年後の新大館駅舎完成に向け計画がスタートしたが、駅前町並みについて地元町内会との話し

合いの場を設けるべき。また、秋田犬の里を負の遺産にしてはいけない。オープningから1ヶ月半で8万人を超える来館者があつたが、アンケート調査の結果を参考に運営してほしい。観光客のみならず市民の憩いの場となるようにしてほしい。市の直営では無理があると思うため、一刻も早く民間委託にすべきと思うが市長の考えは。

〔市長〕JR大館駅の合築駅舎改築を含む駅周辺整備事業の推進により、秋田県の北の玄関口として観光交流だけではなく、交通面・産業面などにおいて、大館の核のエリアとなる大館駅前地区のにぎわいと活気を創出し大館の未来につなげていきたい。今後、地元町内会などと十分に協議し御理解と御協力を得ながら鋭意事業を進めていきたい。秋田犬の里は駅前周辺に新たな人の流れが創出され、駅前の再生が着実に進み始めたものと考えている。市民の皆様にも足を運んでもらえるような施設を積極的に実施していく。将来的には民間のノウハウを活用していく。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

市議会を傍聴してみませんか？

議会の本会議は
どなたでも傍聴できます



傍聴の様子

【傍聴の手続きは】

事前の手続きは不要です。ただし、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご相談ください。

【本会議の日程を知りたい】

正式な会議の日程は、本会議初日の数日前に決定します。おおよその日程を事前にお知りになりたい場合は、大館市ホームページをご覧いただとか、議会事務局に電話などでご確認ください。

【議場の傍聴席への入場は】

会議開始の15分前からご入場可能です。市役所東側（裁判所側）の玄関からお入りいただき、階段を上って3階に議場入り口がございます。

入り口では受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従ってお入りください。

●お問い合わせは

大館市議会事務局 ☎ 43-7108 (直通)

せいむかつどうひ

政務活動費の状況をお知らせします(平成30年度)

政務活動費とは

大館市議会では、地方自治法に基づき、大館市議会議員政務活動費の交付に関する条例が定められており、議員1人当たり月1万5,000円が交付されています。これは議員報酬ではなく、市議会議員の調査研究のため必要な経費の一部として交付されるものです。なお、残余金があった場合は返還することになっています。

平成30年度政務活動費収支報告

(単位:円)

議員氏名	収入	支出						支合計	市への返還額
		調査研究費	資料購入・作成費	広報広聴費	要請・陳情活動費	人件費	その他経費		
石垣博隆	180,000	67,180	42,120					109,300	70,700
日景賢悟	180,000	78,544	42,358	64,800				185,702	0
武田晋	180,000	67,180	15,432	57,494				140,106	39,894
小畠淳	180,000	67,180	40,176					107,356	72,644
虹川久崇	180,000	67,180	8,316					75,496	104,504
中村弘美	180,000	208,860						208,860	0
畠沢一郎	180,000	67,180						67,180	112,820
伊藤毅	180,000	67,180	66,720					133,900	46,100
阿部文男	180,000	67,180		9,504				76,684	103,316
小棚木政之	180,000	173,970	14,935				13,768	202,673	0
藤原明	180,000	67,180						67,180	112,820
田村儀光	180,000	105,060		630				105,690	74,310
佐藤久勝	180,000	67,180						67,180	112,820
仲沢誠也	180,000	67,180						67,180	112,820
斎藤則幸	180,000	126,360						126,360	53,640
小畠新一	180,000		135,982	108,000				243,982	0
明石宏康	180,000			247,829				247,829	0
佐々木公司	180,000	37,540	94,079				1,999	133,618	46,382
吉原正	180,000		31,476	134,000				165,476	14,524
佐藤健一	180,000		48,050					48,050	131,950
田中耕太郎	180,000		45,360	143,640				189,000	0
相馬エミ子	180,000	73,660		168,976				242,636	0
岩本裕司	180,000	73,660						73,660	106,340
佐藤眞平	180,000	73,660		58,320			19,568	151,548	28,452
富樺孝	180,000	73,660	44,820				61,920	180,400	0
菅大輔	180,000	73,660	11,124	136,400			7,200	228,384	0
佐藤芳忠	180,000	20,720		149,281				170,001	9,999
笛島愛子	180,000	82,725	69,046	23,260	43,440		2,608	221,079	0
合計	5,040,000	1,873,879	709,994	1,302,134	43,440	0	107,063	4,036,510	1,354,035

※ 支出合計が収入を超えた分は、議員が自己負担しています。

常任委員会の審査から

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査に当たっております。
ここでは、6月定例会の審査の概要をお知らせいたします。

総務・財政・常任委員会

令和2年度大館市行政組織

機構改革（案）について

産業部と教育委員会を再編し、観光交流スポーツ部を新設する改革（案）

市は、産業部を、現行の農林課を農政課（仮称）と林政課（仮称）に独立させ、商工課と

合わせて3課に、また、観光振興部を新設し、産業部から觀光課と移委員会からスポーツ振興課を移管し3課体制とする案を示した。

改正の趣旨としては、東京オリンピック・パラリンピックを見据え移住交流・觀光部門の強化を図るとともに、スポーツを通じてさまざまな交流を推進し交流人口の拡大を図ること。また、森林環境譲与税の新設等にかかる林政業務への対応やさらなる農業振興の推進を目的としている。

委員からは「職員を削減している中で、なぜ管理職をふやすのか」「経費がかかり増しにならないか」「農林課では対応できないのか」「目的を達成したと

きは、見直すべき」といった意見が出された。これに対し市は「職員の負担軽減や大館のよさをより伸ばすために重要」と理解を求め、今後も引き続き検討していくこととした。

現地調査では、JR大館駅周辺と秋田犬の里を視察し、市当局から事業の説明を受けた。



現地調査の様子（秋田犬の里）

厚生常任委員会

プレミアム付商品券事業

2019年10月の消費税率10%への引上げに伴い、低所得者・子育て世帯の

消費に与える影響を緩和するとともに、地域における消費の喚起・下支えをするため、プレミアム付商品券の発行・販売を行

う。対象は(1)2019年1月1日時点の住民のうち、2019年度の住民税が非課税である者、(2)2016年4月2日～2019年9月30日までの間に生まれた子が属する世帯の世帯主。2万5,000円分の商品券で、販売額は2万円。2019年10月1日からの販売を予定している。

を予定している。

庁舎敷地内全面禁煙の実施について

健康増進法の改正に伴い、7月1日から、市役所本庁舎を含めた10施設の敷地内全面禁煙を実施する。駐車場を含む敷地内を全面禁煙とするもので、加熱式たばこも禁止の対象となる。実施施設は市役所本庁舎、北総合支所、田代総合支所、市役所三ノ丸庁舎、総合福祉センター、保健センター、消防署（本署、比内分署、田代分署、北分署）の10施設。他の施設の受動喫煙対策についても、今後検討を進める。

生活困窮世帯の子ども們の学習・生活支援事業

生活困窮世帯の子どもの学習支援、進路相談、生活習慣の改善指導などを通じ、高校等への進学を支援し、子供の社会的自立を促す。対象は大館第一中、東中学区の生活保護受給世帯、ひとり親世帯で希望する小学校4年生～中学校3年生の約20人



厚生常任委員会の様子

教育産業常任委員会

「秋田犬の里」

リピーター獲得のため

全面的に改善

観光交流施設「秋田犬の里」

のリピーター獲得のため、飲食スペースや子供の遊び場、テラスの活用を含め、館内を全面的に改善するともに、民間活用を最大限に目指していくとした。

また、空港だけでなく、秋田、青森、八戸の港に2,000人を乗せたクルーズ船が最低年30隻寄港することが見込まれている。観光客に大館に来てもらう流れをつくるためにも有用な施設であり、早急に必要な措置を講ずるとした。



教育産業常任委員会の様子

「石田ローズガーデン」の邸宅を改修

市に寄附された「石田ローズガーデン」の邸宅の改修を計画している。寄附者の意向に応え、石田博英氏の功績をたたえる施設としての活用を予定しており、邸宅の1階は倉庫やテラススペース、2階は石田氏を紹介するギャラリー、レストランカフェとして活用できるスペースの確

保、3階は多目的に活用できるスペースの確保を検討している。

養豚場の進出計画

山館に畜産農業施設の進出計画があることが報告された。計画しているのは、小坂町のポークランドグループの十和田湖高原ファームで、施設は豚舎16棟、堆肥処理施設2棟、排水処理施設1棟、管理棟2棟などを計画しており、令和3年4月の操業開始を目指している。

平成30年度 除雪状況

降雪・出動状況報告

平成30年度の初雪は、前年度より7日遅い11月23日に観測され、12月中旬から本格的な降雪期に入った。年が明けた2月中旬以降の降雪が少なく、累計降雪量は35.9cm、最大積雪深は42cmと平成27、28年度以来の少雪であった。そのため、全体の除雪回数は例年に比べて減少したが、12、1月の降雨や気温上昇に伴う圧雪の緩みなどにより通行障害が発生し、少雪であつたにも関わらず除雪車の一斉出動回数の割合が多くなった。

答問 市の除雪車両の現状は。
市が保有する除雪車両は27台で、そのうち20年以上経過した車両が21台である。除雪に支障がないよう、古い車両から順次更新したい。



建設水道常任委員会の様子

除雪車両の取得について

購入からそれぞれ26年、29年を経過し、老朽化が著しい除雪

ドーザーを2台更新（買いかえる）する旨の議案が提出された。

全国市議会議長会表彰

6月定例会において、在職20年の議員に表彰状が伝達されました。



佐々木 公司 議員



明石 宏康 議員



吉原 正 議員

議会報委員会

～議会の情報を皆様にお届けします～

年4回（5月、8月、11月、2月）発行する「市議会だより」は私たちが編集しています。
見やすく親しみのもてる紙面づくりを心がけてまいります！

写真右から

委員員長 小畠 新一
副委員長 笹島 愛子
委員田村 秀雄
委員日景賢悟



定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。
なお、団体での傍聴をご希望の場合には、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

編集後記

新しい議長と副議長が選任され、常任委員会の構成メンバーも決定し、議員一同心機一転、新たな気持ちで議員の職務を全うする所存です。

当議会報委員も決まり、私も前期に引き続き委員に選ばれた上、委員長という重役を拝命することになりましたので、過去の経験を生かしながら、常に改善を繰り返し、議会の情報を見やすく分かりやすい紙面にまとめ、市民の皆様にお届けしたいと考えております。



2年間の任期内で如何に議会報が見やすく変化するかご期待下さい。
(日景賢悟 記)

☎ 43-17108 (直通)

市議会を傍聴してみませんか